

公表 事業所における自己評価総括表（児童発達管理責任者）

○事業所名	Roselle Association CLUB V			
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 8日		～	令和 7年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名 (100%)
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 8日		～	令和 7年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日ごとにリーダー性を取り入れ、運動プログラムが固定化しないようサーキットトレーニング、体感トレーニング、公園活動等で工夫している	月初めに、曜日ごとの活動と担当者を計画して支援している。また、月毎に活動を変えて取り組んでいる	朝礼や個別支援会議で、児童一人一人の活動の様子や課題について検討し、支援内容の見直しを図る
2	子どもたちが自己選択できるよう支援の中でSSTトレーニングやチームでの意見発表等、自己決定をする力を育てる支援を行なっている	活動では、子供達が活動の目標設定や順番、チーム編成を決める機会を作っている	季節の行事や外出活動について、子供達と一緒に企画し、子どもたちの意見を活動に反映させる
3	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	・虐待防止などの外部研修を受講している。・法人内で委員会を設置し、研修を行なっている（支援向上、感染・虐待防止・身体拘束適正化、安全）また、法人グループ内で社内実地指導を行い、他の事業所から書類のチェックやアドバイスを受けている。	外部研修や伝達研修、委員会活動を体系化して、人材育成を計画的に行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や、保護者会の開催などによる保護者同士の連携する機会が少ない	保護者同士が交流する行事の内容が少ない。今年は療育プログラムの説明会を開催したが、平日という事もあり、参加者が少なかった	保護者参加の行事（音楽祭やスポーツフェスティバル2月開催予定）で交流できるよう調整中
2	家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加出来る研修会・情報提供の機会が少ない	・県や療育センターなどが主催する家族向けの研修会について情報が少ない。・法人内での外部向け説明会が少ない	相談支援事業所と連携して家族向けの研修情報を収集していく
3	地域との交流・活動する機会が少ない	感染症対策や個人のプライバシーにより活動が制限されている。	法人内の他事業所との交流活動や、地域の公園活動で関わりが持てる計画を立てていく

公表 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	Roselle Association CLUB V		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 8日		～ 令和 7年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 8日		～ 令和 7年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日ごとにリーダー性を取り入れ、運動プログラムが固定化しないようサーキットトレーニング、体感トレーニング、公園活動等で工夫している	月初めに、曜日ごとの活動と担当者を計画して支援している。また、月毎に活動を変えて取り組んでいる	朝礼や個別支援会議で、児童一人一人の活動の様子や課題について検討し、支援内容の見直しを図る
2	子どもたちが自己選択できるよう支援の中でSSTトレーニングやチームでの意見発表等、自己決定をする力を育てる支援を行なっている	活動では、子供達が活動の目標設定や順番、チーム編成を決める機会を作っている	季節の行事や外出活動について、子供達と一緒に企画し、子どもたちの意見を活動に反映させる
3	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	・虐待防止などの外部研修を受講している。・法人内で委員会を設置し、研修を行なっている(支援向上、感染・虐待防止・身体拘束適正化、安全)また、法人グループ内で社内実地指導を行い、他の事業所から書類のチェックやアドバイスを受けている。	外部研修や伝達研修、委員会活動を体系化して、人材育成を計画的に行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や、保護者会の開催などによる保護者同士の連携する機会が少ない	保護者同士が交流する行事の内容が少ない。今年は療育プログラムの説明会を開催したが、平日という事もあり、参加者が少なかった	保護者参加の行事(音楽祭やスポーツフェスティバル2月開催予定)で交流できるよう調整中
2	家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加出来る研修会・情報提供の機会が少ない	家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加出来る研修会・情報提供の機会が少ない	相談支援事業所と連携して家族向けの研修情報を収集していく
3	地域との交流・活動する機会が少ない	感染症対策や個人のプライバシーにより活動が制限されている。	法人内の他事業所との交流活動や、地域の公園活動で関わりが持てる計画を立てていく